

「電気」の誕生 81 周年記念ミニフォーラム報告 メタエンジニアリング研究所 鈴木 浩

開催の趣旨

昨年(2017年5月)、ラウル・デュフィ作「電気」の精」を展示したパリ万国博覧会から 80 周年を記念したシンポジウムが開催され多くの参加者を得た。これに続き、本年はミニフォーラムを開催した。(以下敬称略)

主催 松本榮壽、鈴木浩、田中國昭

日時 2018年5月25日(金) 10時00分～14時30分

場所 松本榮壽氏宅

参加者 12名

発表

1. 昨年のシンポジウム後のフィードバック

鈴木浩 (メタエンジニアリング研究所)

- ①シンポジウム開催へのお礼が多く寄せられた。
- ②リトグラフの国内での存在情報が改訂された。
- ③「電気」の精」に登場する人物が載っている切手を集めている滝井氏から最新の情報が寄せられた。

2. DVD「電気」の精」と教材「電気」の精」について

田中國昭 (千葉大学名誉教授)

「はじめの5メートル」と称する「電気」の精」の登場人物に関する説明資料ができたのでその報告と紹介があった。「電気」の精」の実物は、縦10メートル横60メートルであり、そのはじめの右5メートルに登場する人物に関する記事である。

3. 三居沢電気百年館の近況

赤間勝巳 (三居沢電気百年館)

東北電力三居沢電気百年館に「電気」の精」が展示されるに至った経緯と、展示による様子が報告された。三居沢水力発電所は、2017年第10回「でんきの礎」として顕彰されている。

4. 「電気」の精」壁面画、縮小版、リトグラフの差・登場人物・文献紹介

松本榮壽 (横河電機OB)

少なくとも3種類存在する「電気」の精」に登場する人物画の違い、背景の違いの説明があった。疑問がいくつかあげられた。登場人物への短歌を付した「電気」の精」の縮小版のコピーを松本邸の壁に展示している。第1図はそのうちの一部を示す。

5. 「電気」の精」の背景の調査結果

梅川文雄 (横河電機OB)

「電気」の精」の背景にある主に建物の紹介があった。

6. 「電気」の精」に寄せて、和歌の背景

小浜清子 (仏語翻訳者)

「電気」の精」に登場する人物に関して詠んだ和歌、

関連書籍の紹介があった。

7. 「電気」の精」を詠んだ短歌

日景洋一 (横河電機OB)

26の短歌が紹介された。二人、三人をまとめたものもある。

8. 明治150年に際して：パリ万国博覧会と日本

青柳加寿子(小石川後樂園庭園保存会理事)

パリ万国博覧会と日本の関わりについて、歴史を紹介した。

ミニフォーラム終了後に壁面の「電気」の精」と和歌を拝見し、記念撮影をした(第2図)。

今後について

これからも「電気」の精」に関する活動を続けてゆくこととした。



第1図 松本氏宅に掲示された「電気」の精」縮小コピーとそえられた短歌の一部



第2図 ミニフォーラム参加者